



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月21日

上場取引所 東

上場会社名 SPK株式会社

コード番号 7466 URL <http://www.spk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 轟 富和

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 中 田 陽 市

TEL 06-6454-2571

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 21,168 | 15.3 | 749 | 37.7 | 811 | 23.7 | 465 | 25.5 |
| 22年3月期第3四半期 | 18,355 | △18.5 | 544 | △31.2 | 656 | △24.4 | 370 | △24.9 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 87.88 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 70.04 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 14,690 | 10,411 | 70.9 | 1,965.93 |
| 22年3月期 | 14,266 | 10,208 | 71.6 | 1,927.58 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 10,411百万円 22年3月期 10,208百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 24.00 | — | 25.00 | 49.00 |
| 23年3月期 | — | 25.00 | — | | |
| 23年3月期 (予想) | | | | 26.00 | 51.00 |

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 27,500 | 9.9 | 900 | 15.1 | 1,000 | 7.4 | 600 | 15.8 | 113.29 |

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 5,296,900株 22年3月期 5,296,900株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 746株 22年3月期 617株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 5,296,192株 22年3月期3Q 5,296,283株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) セグメント情報 | 7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 8 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策、中国を中心とするアジア新興国の景気拡大が下支えとなり、緩やかな景気回復基調を見せましたが、秋以降は円高の進行、エコカー補助金の打ち切りなどの景気対策効果の息切れから踊り場に入った感があります。

当社グループはこのような情勢の中で、国内営業本部においては、従来通り自動車の機能・消耗部品の販売に地道に取り組むと共に、環境に適した新規商材の開発・販売に努めました。その結果、売上高は126億45百万円となり、前年同期比7.4%の増収となりました。

海外営業本部においては、円高の進行により厳しい環境が続いておりますが、世界同時不況の影響を受けた昨年度に比べれば、徐々に成約が増えてきました。その結果、売上高は62億73百万円となり、前年同期比18.8%の増収となりました。

工機営業本部においては、主要顧客である建機・産機メーカーの回復が著しく、増産体制が継続され、売上拡大が続いております。その結果、売上高は22億50百万円となり、前年同期比73.1%の増収と大きく伸長しました。

以上のような要因が重なり、当第3四半期までの経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は211億68百万円（前年同期比15.3%増）、利益面では、営業利益7億49百万円（同37.7%増）、経常利益は8億11百万円（同23.7%増）、四半期純利益は4億65百万円（同25.5%増）となり、いずれも前年実績を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は146億90百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億23百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は131億29百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億74百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が8億73百万円減少しましたが、売上の増加に伴って受取手形が1億29百万円、売掛金が4億47百万円増加したこと、および商品が3億66百万円、工機営業本部の売上増加に伴う未収入金が2億15百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は15億60百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億48百万円の増加となりました。これは主に基幹システムに係わるソフトウェアの入れ替えにより無形リース資産が1億66百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部では、流動負債は35億36百万円となり、前連結会計年度末と比較して87百万円の増加となりました。これは主に未払法人税等が1億9百万円減少しましたが、支払手形が1億6百万円、買掛金が71百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は7億41百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億32百万円の増加となりました。これは主に基幹システムに係わる1年超のリース債務が1億23百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計は104億11百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億2百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は70.9%となり、総資産の増加も原因して前連結会計年度末と比較して0.7ポイント低下しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績につきましては、予想を上回るペースで推移しており、第4四半期は国内営業本部が冬場の季節的要因から売上の増加が見込めますが、海外営業本部における円高の影響が引き続き懸念されるため、現段階で平成22年4月21日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込価額まで切り下げているものについては、前連結会計年度末以降に著しい変化がないと認められるため前連結会計年度末における貸借対照表価額で計上しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,830,289 | 3,703,613 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,623,104 | 6,045,880 |
| 商品 | 2,647,993 | 2,281,775 |
| 繰延税金資産 | 80,043 | 113,221 |
| 関係会社短期貸付金 | 200,232 | 200,695 |
| その他 | 795,178 | 559,916 |
| 貸倒引当金 | △47,036 | △49,671 |
| 流動資産合計 | 13,129,806 | 12,855,432 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 87,654 | 93,504 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 5,498 | 5,793 |
| 土地 | 619,325 | 619,325 |
| リース資産（純額） | 40,536 | 52,415 |
| その他（純額） | 24,256 | 25,182 |
| 有形固定資産合計 | 777,271 | 796,221 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 16,412 | 22,474 |
| リース資産 | 202,086 | 35,461 |
| その他 | 10,128 | 10,128 |
| 無形固定資産合計 | 228,627 | 68,065 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 301,050 | 293,393 |
| 繰延税金資産 | 130,740 | 135,526 |
| その他 | 125,921 | 118,319 |
| 貸倒引当金 | △3,397 | △16 |
| 投資その他の資産合計 | 554,314 | 547,223 |
| 固定資産合計 | 1,560,214 | 1,411,510 |
| 資産合計 | 14,690,020 | 14,266,942 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,900,366 | 2,722,694 |
| 未払法人税等 | 131,397 | 240,429 |
| その他 | 505,069 | 486,309 |
| 流動負債合計 | 3,536,833 | 3,449,434 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 460,899 | 462,964 |
| 長期預り保証金 | 63,888 | 57,897 |
| 長期未払金 | 25,625 | 19,830 |
| その他 | 190,913 | 67,818 |
| 固定負債合計 | 741,326 | 608,511 |
| 負債合計 | 4,278,159 | 4,057,945 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 898,591 | 898,591 |
| 資本剰余金 | 961,044 | 961,044 |
| 利益剰余金 | 8,463,340 | 8,262,726 |
| 自己株式 | △999 | △837 |
| 株主資本合計 | 10,321,976 | 10,121,523 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 92,137 | 87,619 |
| 繰延ヘッジ損益 | △2,252 | △145 |
| 評価・換算差額等合計 | 89,884 | 87,473 |
| 純資産合計 | 10,411,861 | 10,208,997 |
| 負債純資産合計 | 14,690,020 | 14,266,942 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 18,355,334 | 21,168,667 |
| 売上原価 | 15,718,791 | 18,083,571 |
| 売上総利益 | 2,636,543 | 3,085,095 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,092,060 | 2,335,528 |
| 営業利益 | 544,482 | 749,566 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,717 | 3,468 |
| 受取配当金 | 2,529 | 3,215 |
| 仕入割引 | 91,453 | 92,974 |
| 受取保険金 | 38,331 | — |
| その他 | 21,506 | 17,311 |
| 営業外収益合計 | 159,539 | 116,969 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 667 | 2,162 |
| 売上割引 | 45,905 | 50,805 |
| その他 | 1,281 | 2,217 |
| 営業外費用合計 | 47,854 | 55,184 |
| 経常利益 | 656,166 | 811,351 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,049 | — |
| 固定資産売却益 | — | 329 |
| 特別利益合計 | 1,049 | 329 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | — | 322 |
| 固定資産除売却損 | — | 19 |
| 特別損失合計 | — | 342 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 657,215 | 811,339 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 194,824 | 309,625 |
| 法人税等調整額 | 91,424 | 36,288 |
| 法人税等合計 | 286,249 | 345,913 |
| 四半期純利益 | 370,966 | 465,425 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）において、当連結グループは同一セグメントに属する自動車部品・用品・附属品と産業機械車両部品の国内販売および輸出入を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）において、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | アジア・オセアニア | 中南米 | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 1,898,990 | 1,793,403 | 1,585,936 | 5,278,331 |
| II 連結売上高（千円） | — | — | — | 18,355,334 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 10.3 | 9.8 | 8.6 | 28.7 |

(注) 1. 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国または地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・オセアニア……シンガポール、フィリピンおよび台湾

(2) 中南米……パナマ、エクアドルおよびグアテマラ

(3) その他の地域……中東・アフリカ、欧州および北米地域

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に自動車部品・用品の国内販売・輸出入および産業用車両部品の企画販売を行っており、自動車部品・用品およびフォークリフト用補修部品の国内販売は国内営業本部が、自動車部品の海外輸出は海外営業本部が、産業用車両部品の企画販売は工機営業本部が、それぞれ担当しております。

したがって、当社グループの構成単位は販売体制を基礎とした営業本部別のセグメントから構成されており、「国内営業本部」、「海外営業本部」、「工機営業本部」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

| | 国内営業本部 | 海外営業本部 | 工機営業本部 | 合計 |
|-------------------|------------|-----------|-----------|------------|
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,645,288 | 6,273,199 | 2,250,179 | 21,168,667 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 131,469 | — | — | 131,469 |
| 計 | 12,776,757 | 6,273,199 | 2,250,179 | 21,300,136 |
| セグメント利益 | 468,549 | 85,038 | 112,617 | 666,205 |

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 666,205 |
| 一般管理費の調整額（1） | 9,230 |
| 全社営業外収益（2） | 107,630 |
| 営業外費用の調整額（3） | 28,284 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 811,351 |

- (1)、(3) は各営業本部が負担する一般管理費及び営業外費用の配賦差異であります。
 (2) は主に報告セグメントに帰属しない管理部門の営業外収益であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。